

LPF30H

HF帯～30MHz用ローパスフィルタ

取扱説明書

このたびは、ローパスフィルタLPF30Hをお買求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

特長

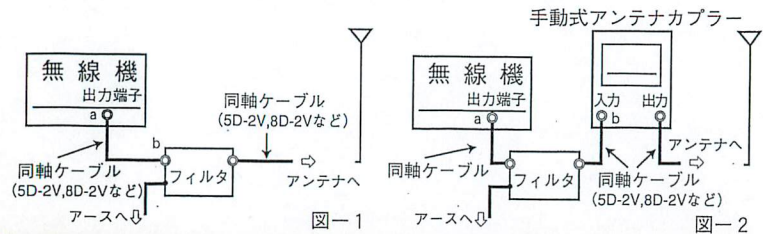
- 本器は、TVIやBCIなどの電波障害を低減する目的で開発されたローパスフィルタです。しゃ断周波数は32MHzですので、周波数が1.3～30MHz（HF帯）までの無線機に使用できます。500W（F3）出力の無線機に十分耐えるよう設計されています。
- ダミーロード終端形の高調波吸収用ハイパスフィルタを組み込んでいますので、高調波減衰特性がすぐれています。
- コモンモードフィルタを組み込んでいますので、同軸ケーブルなどの外被導体に誘起された電波を減衰して、電波障害の低減に効果的です。
- ロスの少ない設計になっています。

フィルタの使用法

本器は、無線機とアンテナ（空中線）との間に接続して使用します。本器のコネクタはMJ型ですので、接続するコネクタはMP型を使用します。また、接続する方向性がありますのでご注意ください。

- つぎに本器の正しい使用方法を説明します。
1. まず、アンテナは整合された状態にあることを、SWR計で測定し確認しておきます。
 2. 図-1のように無線機の外部に設置して、無線機やアンテナと50Ω系の同軸ケーブル（5D-2V、8D-2Vなど）で接続します。このとき、a～b間はできるだけ1m以内でご使用ください。
 3. 図-2のように手動式アンテナカプラーを、本器とアンテナの間に接続して使用することができます。このときa～b間は、2mぐらいでも特に悪い影響はありません。
 4. 接続が終わりましたら、送信前にコネクタの締付けをもう一度確認してください。このとき、無線機とアンテナとは整合された状態にあることを、再度確認してください。

SWRが1.5以下でしたら整合された状態です。
※安全にお使いいただくため、取り扱いの注意事項をお守りください。



—主な電波障害の種類—

無線局の送信電波による強電磁界内に、テレビやラジオおよび電子機器がおかれた場合、強電磁界の影響をうけて受信障害、機能障害を起こすことがあります。

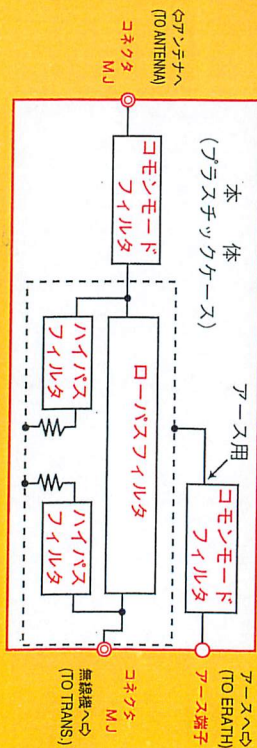
- TVIは、無線局の電波によりテレビが受信障害、機能障害を起こすこと。
- BCIは、無線局の電波によりラジオのAM/FM放送が受信障害、機能障害を起こすこと。
- テレホンIは、無線局の電波により有線電話や無線電話（携帯電話）の通話または他機能への障害を起こすこと。
- ステレオIは、無線局の電波によりステレオのAM/FM放送受信、レコード/CD演奏やカセットテープ録音/再生障害を起こすこと。

※TVIなどの電波障害は、基本波や低調波およびフィルタの通過帯域内での低次の高調波、無線機ケースからの直接放射や電源ラインからの放射によっても発生することがあります。障害の発生原因によりフィルタ効果が発揮できない場合があります。

コメント株式会社

〒336 埼玉県浦和市辻4-18-2 TEL048-839-3131(0) FAX048-839-3136

- 規格仕様
- 通過帯域：1.3～30MHz
- 入力力（連続電力）：1000W/F3(FM) 500W/F3(FM)
- 挿入損失：通過帯域内にて0.6dB以下
- 減衰量：90MHzにて45dB以上
- インピーダンス：通過帯域内にて50Ω
- 残留SWR：通過帯域内にて1.1以下
- コネクタ：MJ型（M型シヤック）
- 寸法（保証値）：幅155×高さ50×奥行175mm 量：約750g
- 重量
- 付属品：接続シート付コダ（1シート）



LPF30H

High Power
ハイテクローパス

コモンモード対応 & 高調波吸収フィルタ内

1.3～30MHz, 500W (FM)まで

TVI

BCI

テレホンI

ステレオI